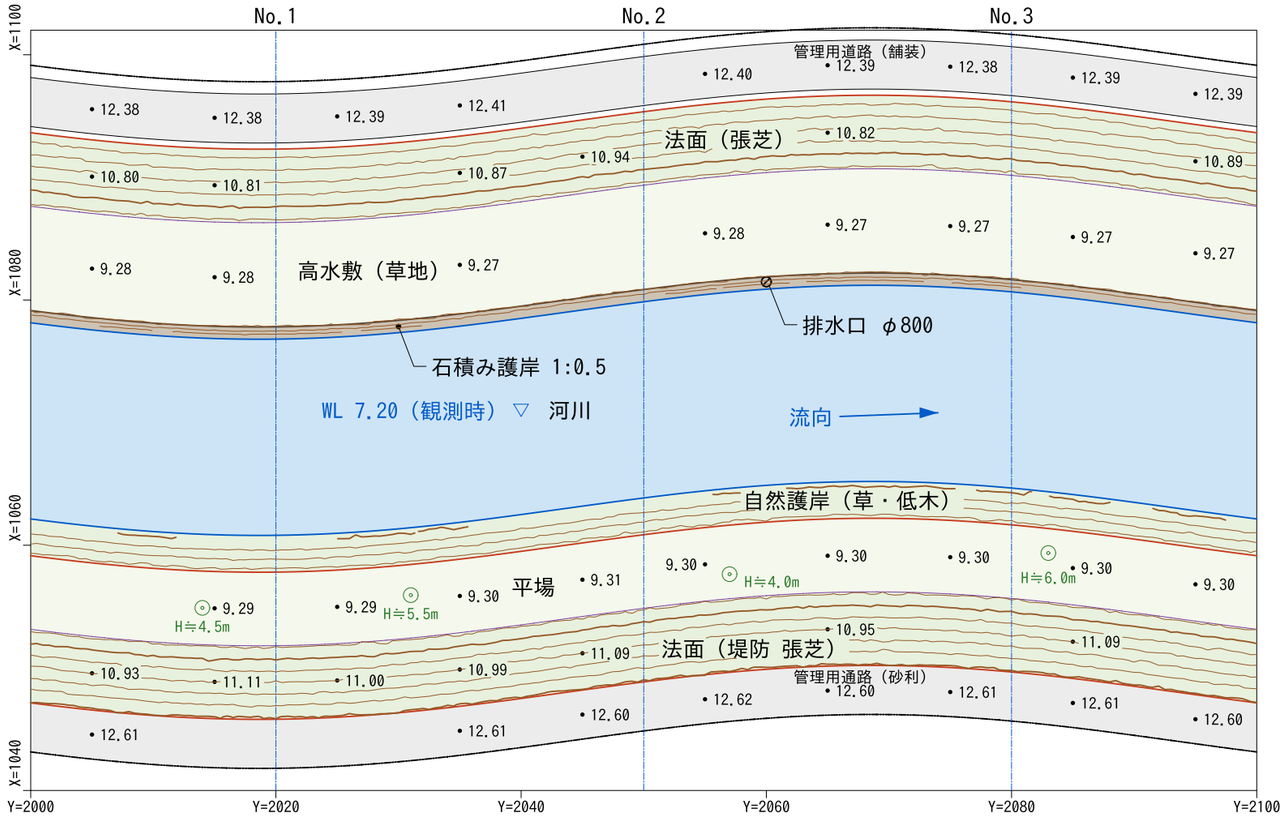
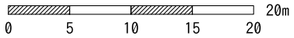
平面図 1:500





N

凡例

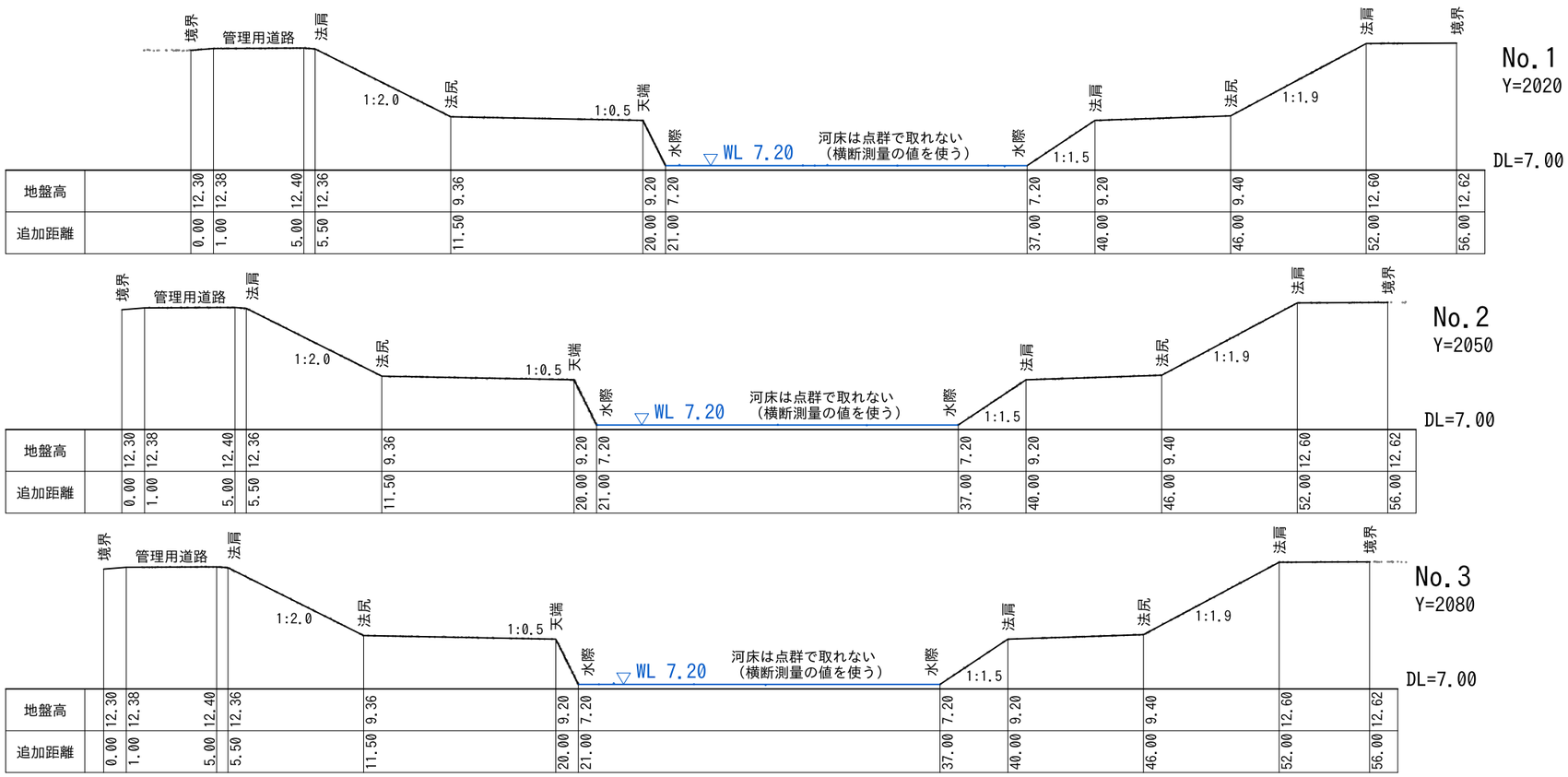
- 区域の境界
- 道路端
- 法肩
- 法尻
- 石積み天端
- 水際
- 点群の点（横断図。測線の前後 0.3m の地表と水面）
- 等高線 計曲線（2.5m ごと）
- 等高線 主曲線（0.5m ごと）
- 標高点（m）
- 立木（H＝高さ）
- 排水口
- 横断測線 No.1〜No.3

データ（DXF・GeoJSON・シェープファイル）

種類	内容	層の名前（DXF）
点	標高点 47・排水口 1・立木 4・水位 1	点_標高点 ほか
線	法肩・法尻・水際・石積み天端・道路端・境界（3D、12本）	線_法肩 ほか
面	河川・法面・高水敷・石積み・道路（9面）	面_河川 ほか
等高線	主曲線 0.5m（22本）・計曲線 2.5m（11本）	等高線_主曲線／計曲線

座標は任意座標（m）。X＝北、Y＝東。標高は m。図化の元は点群 約6.6万点（LAS・TXT）。

横断図 1:250（下流を見る。縦・横とも同じ縮尺）



読み取りの根拠

1. 点群を「地表・水面・樹木」に分けてから描く。
   樹木の点は地表の標高から外す。
2. 水際は、水面で点が急にまばらになる所と、
   色の変わり目で判別。
3. 石積みは、勾配（約 1:0.5）と目地の並びで
   判別。天端と基部を線にした。
4. 法肩・法尻は、横断で勾配が変わる点を
   拾い、1m おきにつないだ。
5. 排水口 φ800 は、石積みの面の暗い円と、
   周りのコンクリートの色で判別。
6. 現地写真がある場合は、迷う所を写真と
   照らし合わせて確かめてから描く。

・横断図の河床は点群で取れないので、
横断測量の値を足して使う。

作成		照査		承認	
0	2026-11-27	初版			
記号	年月日	改訂内容			担当

工事名	河川改修 設計用地形図（提案例の地形）
図面名	平面図・横断図
作成年月日	2026-11-27
縮尺	図示（A3）
図面番号	1/1
会社名	ZAZOU 設計Works（提案例）
事業者名	○○県（提案例）